



虹の橋

天国の入口近くにかかる「虹の橋」。

この世で人間となかよく暮らしていた動物たちは、

死を迎えると虹の橋へ向かいます。

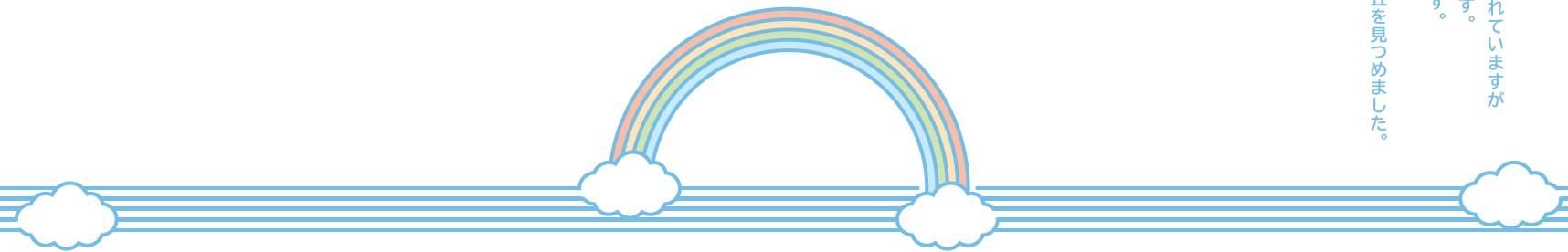
虹の橋のたもとは、自由で満たされた暮らしが約束されていますが

みんな心のどこかに、とあるひとつつの思いを抱えています。

一緒に暮らした「特別な存在」と会えなくて寂しいのです。

みんなで走り回って遊んでいるときに、

ある一匹が何かが聞こえたように突然動きを止め遠くの丘を見つめました。



目はみるみる輝き、臺びに満ち溢れています。

すると、丘の向こうを目指しまるで小鹿のように跳ねながら

ものすごい勢いで草原を走っていきました。

ずっと会いたいと思いつづけてきた大切な人を見つけたのです。

もう二度と離れないと抱き合い、

大好きだとあなたの顔中にペロペロとキスします。

あなたはやさしく頭をなでてあげ、

信頼に満ち溢れたその子の目を覗き込みます。

心ではずつとつながっていたこの子と、もう一度と離れないのだと

一緒に虹の橋を渡っていくのです。